

# Graduate School of Policy Science New Course

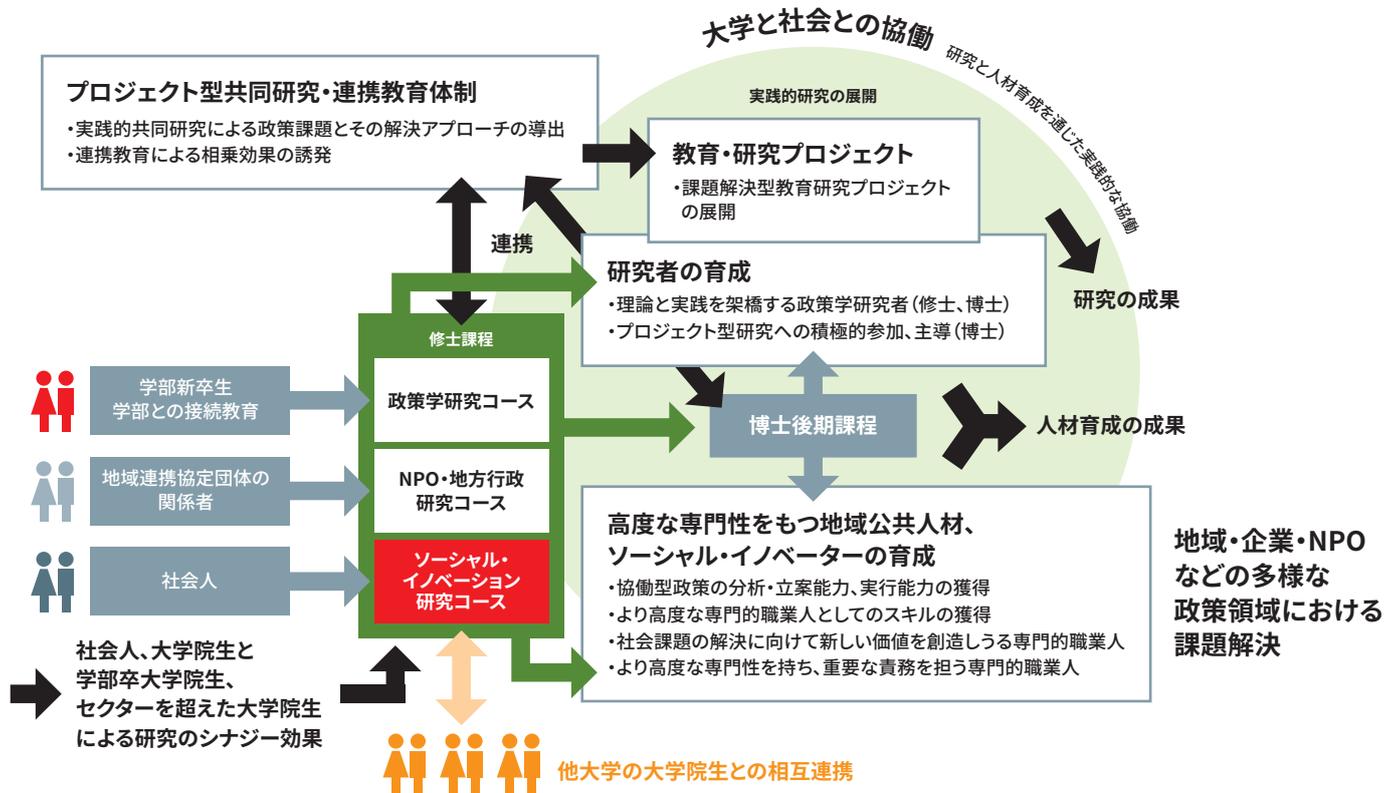


## 政策学研究科 地域公共人材総合研究プログラムに 「ソーシャル・イノベーション研究コース」 を新設

龍谷大学 大学院 政策学研究科は2025年4月に「ソーシャル・イノベーション研究コース」を新たに設置します。  
また、「NPO・地方行政コース」を「NPO・地方行政研究コース」に名称変更し、「政策学研究コース」とあわせて3コース制で幅広い学習機会を提供します。

### ソーシャル・イノベーション研究コースの概要

社会的ニーズを満たすための新たな価値創造を実践的に研究したいビジネスパーソンをはじめとする様々な職業人と、若い大学院生とのシナジー効果によって、新しい価値の創造を通じて社会を変革したいという実践的な専門的職業人を養成します。まちづくりやローカルビジネス、イノベーションに関する理論や実践科目のほか、ソーシャル・イノベーション人勢実践演習など革新的な発想によって地域のポテンシャルの新たな活かし方を実践的に研究する科目を学修することで、地域ポテンシャルの発掘と価値創造の力を修得します。



# ソーシャル・イノベーション人材養成プログラム

## 概要

大学連携型ソーシャル・イノベーション人材養成プログラムとは、龍谷大学が代表校となり、琉球大学、京都文教大学の3大学で文部科学省「人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業」に共同申請したプログラムのことであり、2023年9月に私立大学が代表校を務める唯一のプロジェクトとして採択されました。

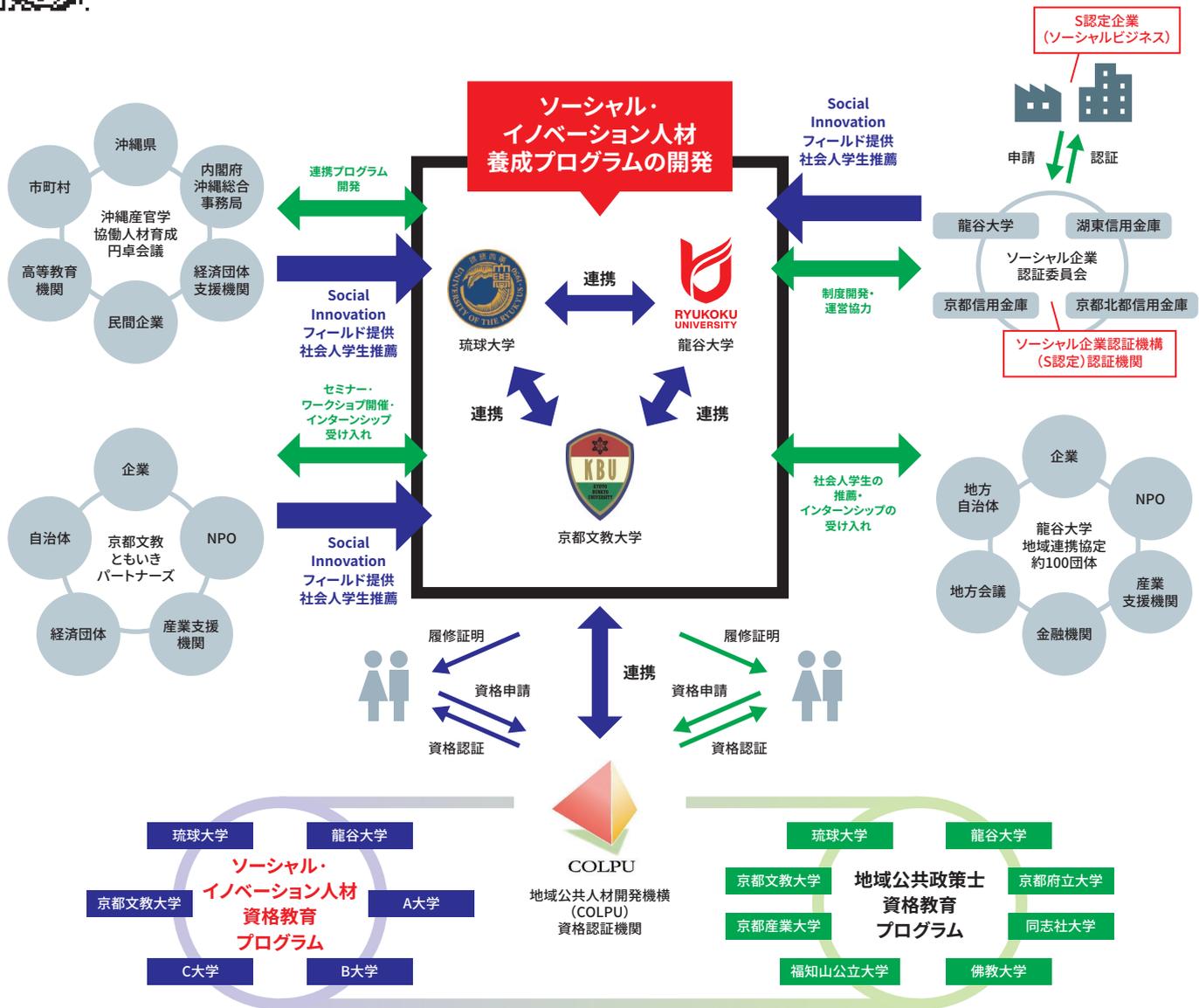
本事業は、人文・社会科学系の大学院が連携することで、単独では成し得なかった幅広く多様な知見を融合させたダイナミックな大学院教育を促進するものです。本学大学院政策学研究科と琉球大学大学院地域共創研究科、京都文教大学大学院臨床心理学研究科の3研究科によって、質保証のための資格認証制度の仕組みを確立し、「ソーシャル・イノベーション人材」(仮称) 資格認証制度を開発・運用します。

3つの大学院の連携によって、人文・社会科学系のほとんどの研究領域をカバーした高度で多様な知見の融合が可能になり、ソーシャル・イノベーションに必要な「社会課題の要因を多面的な視点から見抜く力」、「多様な領域の知見を組み合わせる付加価値を生む力」を持つ人材を養成していきます。

授業はオンラインを活用しながら、対面形式も取り入れたフィールドワーク(京都・沖縄)や報告会等を実施する予定です。詳細は「大学連携型ソーシャル・イノベーション人材養成プログラム」のWEBサイトをご覧ください。



大学連携型ソーシャル・イノベーション人材養成プログラム WEBサイト  
<https://www.policy.ryukoku.ac.jp/socialinnovationpro/>



大学連携型ソーシャル・イノベーション人材養成プログラム

## ソーシャル・イノベーション人材の養成

## 地域公共政策士<sup>※</sup>の養成

※地域公共政策士・・・地域や社会の中で実践的に活躍できる人材「地域公共人材」であることを証明する資格です。

# ソーシャル・イノベーション研究プログラム資格制度(キャップストーン)

## キャップストーン科目について

本プログラム資格制度においては、地域課題の原因からポテンシャルを見抜き、そのポテンシャルと多様な領域の知見を融合させて新たな価値を生むイノベーションに関する実践科目(PBL型キャップストーン科目)を設置します。

「キャップストーンプログラム」とは、1990年代に米国において考案された、公共政策・公共行政分野における実践的教育プログラムです。「キャップストーンプログラム」を通じて、学生は、大学、大学院における、これまでの学びの「総仕上げの、総合的な経験をやるプログラム」として、学士課程、修士課程まで学び積み上げてきた理論的知識を基礎に、応用として、社会の現実的な諸問題の解決に資する解決策を提示し、最終的に、実践プロセスについて評価を受けます。

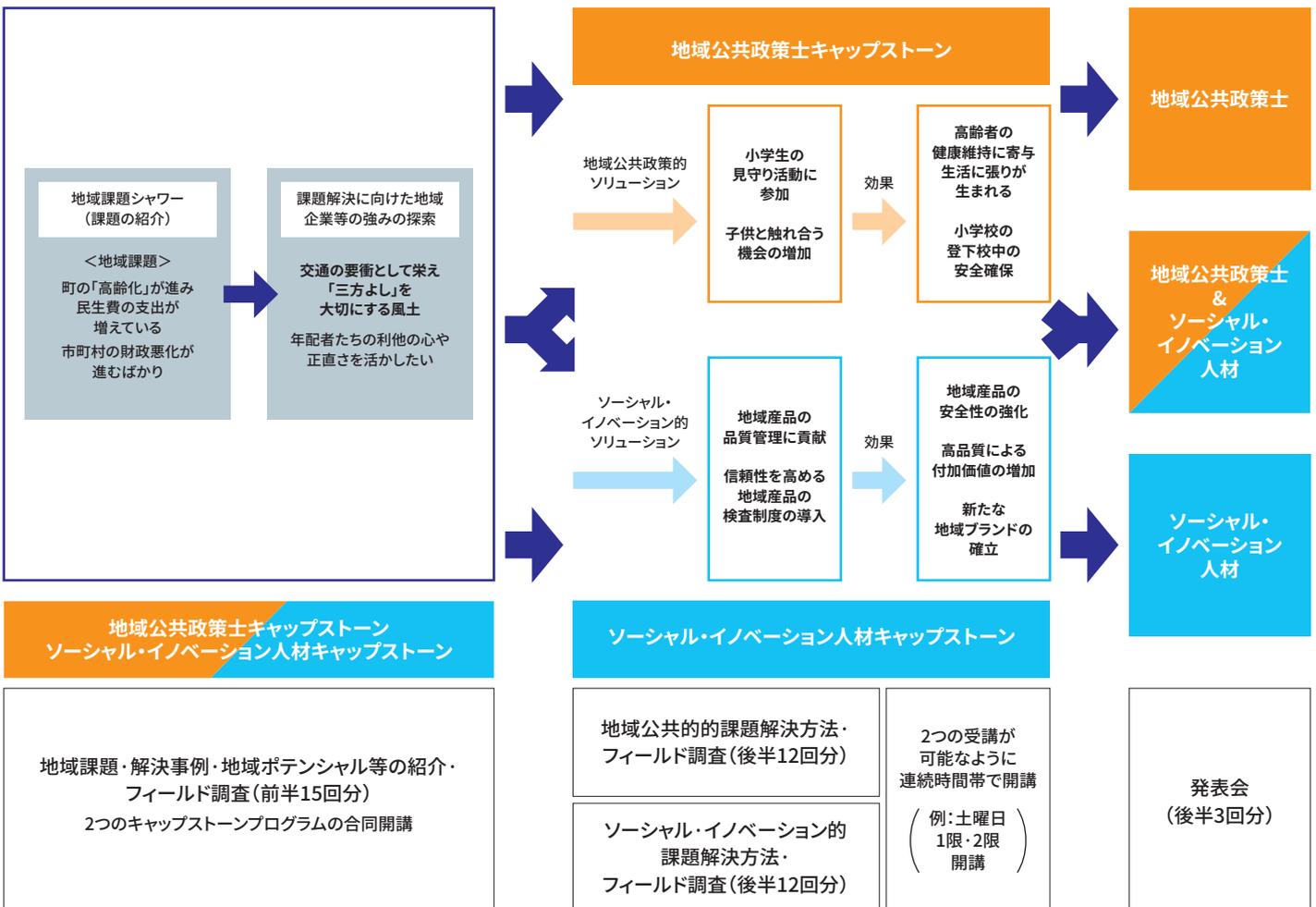
このキャップストーン科目は、通年科目とし、3つの大学が各課題を持ちより、通常はオンライン授業としつつ、年2回のフィールドワーク(京都・沖縄)や報告会等を実施します。龍谷大学は京都地域の政策課題(観光、環境問題等)、琉球大学は沖縄地域の政策課題(島嶼振興、多文化共生等)、京都文教大学は職場での政策課題(職場での心理に関する問題)をそれぞれ準備します。また、3大学のこれまでの取り組みにより、京都・沖縄それぞれの地域における行政や経済団体、企業やNPO等との豊富なネットワークを構築しています。そのため、多様な地域課題のシャワーを浴び、地域課題を解決するために新たな価値を創出する能力を獲得できます。

## 資格制度について

「ソーシャル・イノベーション人材」資格は、EUの教育・職能資格で用いられるEQF(European Qualifications Framework)のレベルを参照し、21ポイントの取得で資格を認証します。具体的には、基礎科目で11ポイント(必修科目と選択科目)、キャップストーン科目で8ポイント、認証機関特別講義で2ポイントとする予定です。

本資格については、地域公共政策士を認証する一般財団法人地域公共人材開発機構(COLPU)を認証機関としています。

## 地域公共政策士とソーシャル・イノベーション人材のキャップストーン(例)



# 地域公共人材総合研究プログラム推薦入学試験(協定先)募集要項

## 特徴

- ・「1年制」での出願が可能
- ・入学試験は書類審査と面接で実施
- ・学費相当額(入学金、授業料)が給付される奨学金制度あり(採用者のみ)

## 募集人員

研究科	専攻	修士課程(1年制)	修士課程(2年制)
政策学研究科	政策学専攻	10名	5名

## 入試スケジュール

出願学部	出願期間 (締切日消印有効)	試験日	試験会場	合格発表日	入学手続	入学手続II
政策学研究科	2024年10月3日(木)～ 10月10日(木)	2024年 11月10日(日)	龍谷大学 深草キャンパス	2024年 11月16日(土)	2024年11月16日(土)～ 11月22日(金)	2024年11月16日(土)～ 2025年2月27日(木)

## 選考方法

試験科目	説明・書類記入	口述試験
試験時間	9:45～10:00	10:00～

試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。  
<合否判定>面接、出願書類などを総合して、合否を判定します。

## 出願資格

次の(1)および(2)を満たしている者

- (1)「龍谷大学と(地方自治体及び関連団体)との地域人材育成に係る相互協力に関する協定書」に基づき、各団体より推薦された者
- (2)大学院での学修に相応する社会的経験を有している者

## 出願書類

- ①研究計画書(本学所定用紙)
- ②所属団体長推薦書(本学所定用紙)  
厳封されたものを提出してください。

- ③経歴書(本学所定用紙)  
※所定の出願書類の他に適宜必要書類の提出を求めることがあります。  
※いったん提出された書類は返却しません。  
※出願書類に不備や虚偽の記載があった場合には受験できません。

## 入試要項・出願書類のダウンロード

入試要項、出願書類については、本学Webサイトからダウンロードができます。

URL <https://www.ryukoku.ac.jp/admission/yoko/kyoutei/index.html>  
ID ryukoku  
PW 2024kyoutei



## 問い合わせ先

政策学部教務課 TEL 075 (645) 2285 mail seisaku@ad.ryukoku.ac.jp